外国語試験　英語

【解答例】

問１

文字が繁栄したり消滅したりする理由は、純粋に言語的な要因というよりは、政治的・文化的な要因に大きく左右される。

問２

Aztecs を支えていた文化的な世界観が徐々に崩壊していった結果

問３

今日のライティング研究者の多くは、古代の文字に込められた知性に対して、ますます敬意を抱くようになっている。

問４

writing systems as being enmeshed within societies

問５

Chinese characters, Egyptian hieroglyphs, Mayan glyphs, Roman alphabet　の中の２つ

【出題意図】

本研究科の大学院入試における外国語（英語）試験は、受験生が大学院での学修・研究を進めるうえで不可欠となる、基礎的英語文献を精確かつ的確に読み解く能力を有しているかどうかを測定することを主眼としている。本問は、学部段階で習得しておくべき標準的な英語読解力を前提に、英文の内容理解を問う形式を採用している。各設問には複数の解釈の可能性が存在し、模範解答を一義的に示すことはかえって不必要な冗長さを招く。このため本研究科では、答案を評価する際の基準を明示する目的で、「採点の観点」を提示する方式を採っている。「採点の観点」は、受験生にとって自らの答案がどの視点で評価されるのかを明確化し、学習における指針としても活用できる点で有効である。本試験で扱う英文および設問は、学部レベルで涵養される

べき英語運用能力に照らして妥当と考えられる文献から選定されている。受験生がこれらを正確に読み取り、内容を過不足なく、論理的かつ明晰に説明できるかを重視して評価する。以下に本問の「採点の観点」を示す。

① 基本理解：語彙・表現・文法・構文の各レベルにおいて、標準的な言語知識を身につけているか。
② 表現・構成：文脈を適切に追いながら英文を精確に理解し、論理的で簡潔な説明になっているか。
③ 論理関係の把握：指示語の指す内容、文と文の論理的連関（原因・結果、対比、展開など）を的確に読み取り、英文全体の論旨を適切に再構成できているか。
④ 学術的態度・記述の適切性：客観的・学術的な記述を心がけ、本文に基づいて根拠立てて説明しているか。主観的推測に依存せず、英文に即した正確な表現ができているか。
→以上の観点を総合し、「英文の精確な理解」および「論理的で簡潔な説明」に基づいて総合的に評価する。

外国語試験　日本語

問題Ⅰ

問１（d）　問２（b）　問３（c）　問４（a）　問５（b）　問６（d）　問７（b）
問８（a）　問９（d）　問10（b）

問11

自由記述問題では、与えられた課題に対して、受験生が自らの知識・関心・問題意識をもとに、論理的に考察・展開する力を評価する。出題範囲は特定の文献や理論に限定されていないため、受験生ごとに多様な切り口や構成、立論が想定される。そのため、すべての答案について具体的な模範解答を提示することは適切ではなく、ここでは採点における基本的な観点のみを示す。

採点にあたっては、①テーマの理解と論点の把握（与えられた課題に対して適切な問題設定ができているか）、②構成の論理性（主張の展開に一貫性があるか）、③内容の独自性（自らの視点に基づく考察が行われているか）、④日本語表現の正確さと明瞭さ（語彙・文法・表記の誤りが少なく、大学院進学を目指す学生としてふさわしい日本語力を有しているか）を主な評価基準とする。

これらの観点に基づき、論理の整合性および表現の的確さを含めて総合的に判定する。なお、自由論述問題では多様な答案が想定されることから、答案全文の公表は行わず、評価の枠組みのみを示すことで、受験生一人ひとりの思考過程を尊重しつつ、学習上の参考となるよう配慮している。

【出題意図】

本問題は、受験生が大学院での学修・研究を進めるうえで必要となる日本語能力を十分に備えているかを測定することを主眼とする。

問１から問10では、新聞記事の一部を題材とし、文脈に即して語彙的・文法的に適切な語句を空欄に補う力、文章内容を正確に理解し語句が指している内容を把握する力、さらに文章の概要や筆者の主張を理解し、適切なタイトルを選択する力を問う。

また、問11は、記事に関連する内容について300字程度で自らの意見を述べる記述式課題である。与えられた指示に従い、自身の考えを筋道立てて論述できるか、具体的かつ説得力のある見解を提示できるかを評価する。あわせて、大学における論述にふさわしい語彙・表現・構成を適切かつ効果的に用いることができるかどうかも評価の対象とする。

本問題を通して、論文作成に必要な日本語能力を中心に、課題について論理的に考察する能力も含めて総合的に判断する。

外国語試験　中国語

問題Ⅰ

問１．著作権の関係により公表できません。

問２．著作権の関係により公表できません。